

# IPBS NEWSLETTER

生体統御ネットワーク医学教育プログラム  
Interdisciplinary Program for Biomedical Sciences

[www.stn.osaka-u.ac.jp](http://www.stn.osaka-u.ac.jp)

大阪大学 未来戦略機構 第二部門 Vol.1

April, 2013



生体統御ネットワーク医学教育プログラム（IPBS）は、生命科学を専攻する6研究科が分野・研究科の枠を越えて教育を提供する5年一貫制博士課程プログラムです。生体システムを統合的に理解し、疾患の原因究明や創薬を実現する国際的なリーダー人材の育成を目指します。このNEWSLETTERでは、カリキュラムや履修生の様子をお伝えします。

## H25年度プログラムがスタート 履修説明会を4月4日に開催しました。

平成25年度では、13名（第2期生10名、第1期編入生3名）が新たに選抜されました。第1期生と併せて合計25名の履修学生、15名の特任教員、56名の学内外プログラム担当教員により、H25年度プログラムが始まりました！  
以下、プログラム責任者、プログラムコーディネーターからの、新入生、履修生へのメッセージです。



金田 安史  
プログラム責任者  
医学系研究科・医学専攻・教授  
医学系研究科長

生命科学の究極の目的は、人間の生命活動の複雑な仕組みの解明です。そのためには、生体系の統合的な理解能力が求められます。本プログラムは研究科の枠を超えた横断的な教育体制によってその能力を涵養する画期的な教育システムです。その中であなた方の無限の能力を磨き、人類の歴史に残るような発見をしてください。



竹田 潔  
プログラムコーディネーター  
医学系研究科  
医学専攻・教授

合格おめでとうございます。疾患克服を実現する生命科学領域のリーダーを創出するため、昨年度から始動したこの大学院教育プログラムは、高い志と熱意を持った学生が切磋琢磨する場・機会を提供します。第1期生、特任教員とともに、堅忍不拔の精神で将来のリーダーをめざしましょう！

4月4日の履修説明会の様子



## 第1期生 Writing Course

大阪大学の協定校であるオランダ・グローニンゲン大学の語学センターから Piet van der Laan 講師が来日し、English Writing 対面授業を1期生(2年生)に行いました。このコースはその後もオンラインで行われ、8月の海外インターシップの直前まで続きます。

4月10日の講義の様子



受講した履修生の声  
勢力 薫 さん  
第1期編入生  
薬学研究科医療薬学専攻



Piet 先生の講義では、研究論文で使われるような formal な英文の書き方を学びました。英語での講義は編入生の私には難しく感じましたが、誰が見ても理解しやすい英文を書けるようになりたい、という意識が芽生え、非常に良い経験になったと思います。



第1期生15名、第2期生10名、プログラム教員と

## 第2期生 基礎生命医科学、臨床医学

人体形態機能学分野、分子医学分野、病理・病態学分野、集団社会医学分野について、4月～6月に集中的に講義が行われています。

履修を開始して一言  
今泉 友希 さん  
第2期生  
医学系研究科医科学専攻



IPBS プログラムを通して研究科が異なるクラスメイトと知り合うことができ、それぞれの関心のある分野の話等、交流する事で視野が広がるのは本プログラムの利点だと思います。共に学びあいながら、生命医科学の基礎知識、英会話力、積極性を養える環境を活かしながら共にステップアップしていきたいと思います。